

# 海外農林業情報 No.30

## 日米首脳会談の結果について

安倍晋三首相とオバマ米大統領との首脳会談は4月24日午前に開催され、日米同盟の強化を確認するとともに、中国、北朝鮮、ウクライナ問題等についても、共通の立場を確認しています。しかし TPP に関しては、当初期待されていた大筋合意には至りませんでした。

首脳会議前の前進を目指し、24日朝まで続けられた甘利経済再生担当相とフロマン米国通商代表との TPP 交渉は、前進が見られず、両首脳の手配により首脳会談後も交渉が続けられることとなりました。しかし、その閣僚折衝も中断され、再度事務レベルの交渉が夜を徹して行われましたが、結局、閣僚折衝の再開もかなわず、合意に至らない状況となりました。その結果、首脳会議直後に発表される予定であった共同声明は、オバマ米大統領の離日直前に発表されるという異例の展開となりました。

共同声明には、TPP に関し、「二国間の重要な課題について前進する道筋を特定した」とあり、問題が相当程度煮詰められ、かつ決着の方向性が見えたことがうかがえますが、合意は先送りとなっています。

直前まではこの首脳会議で TPP に関する大筋合意がなされるのではないと言われて、交渉過程でも日本側の農産物5品目の取扱いの見通しを取り沙汰されていました。日本側の新聞各紙では、①コメ、麦、砂糖は例外扱い、②牛肉は関税を現行の38.5%から20%前後への引き下げ、③豚肉は、価格の高いものに関しては現行の4.3%からの引き下げ、価格の低いものに関しては差額関税制度の緩和、④酪農品は、特にチーズ関税の引き下げの方向で合意が進むのではないかと報じられました。しかし、結果として、豚肉の関税問題と自動車の規格・基準の問題で合意できなかったと伝えられています。

共同声明では、「両国は、TPP に関する二国間の重要な課題について前進する道筋を特定した。これは、TPP 交渉におけるキー・マイルストーンを画し、より幅広い交渉への新たなモメンタムをもたらすことになる」としており、近々の合意の重要性を示唆しています。次の交渉は5月17日、18日に中国で開かれる APEC の閣僚会議の機会ではないかといわれており、また首脳間で「道筋を特定した」とされていることもあり、首脳会談を待たずに、閣僚間で決着することもあると考えられます。

### <参考リンク>

日米共同声明 (①外務省 ②ホワイトハウス、英語)

①[http://www.mofa.go.jp/mofaj/na/na1/us/page3\\_000756.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/na/na1/us/page3_000756.html)

②<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2014/04/25/us-japan-joint-statement>

進展も合意届かず TPP 日米協議を継続 (日本経済新聞 Web 刊、無料ログインが必要)

[http://www.nikkei.com/article/DGXDasfs2505T\\_V20C14A4MM8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXDasfs2505T_V20C14A4MM8000/)

## 2014 年は「国際家族農業年」

今年、2014 年は国連の定めた「国際家族農業年」です。

「家族農業」が飢餓の根絶と天然資源の保全において果たす役割は小さくなく、特に FAO では、生産性の向上に大きな可能性を持っているとして、期待を寄せています。

これを機に、飢餓や貧困の緩和、食料安全保障と栄養の提供、生活の改善、天然資源の管理、環境保護、そして主に農村地域での持続可能な開発を達成するために、「家族農業」のもつ可能性と役割について考えてみませんか。

<参考>

IYFF 公式サイト <http://www.fao.org/family-farming-2014/en/>

FAO 日本事務所関連記事 <http://www.fao.or.jp/detail/article/1170.html>

---

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空（から）メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：[deskb@jaicaf.or.jp](mailto:deskb@jaicaf.or.jp)  
メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880（担当：西野・森）までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

**発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)**

**〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階**